

# ちいさ新聞

ちいき新聞に関するご意見・ご要望・お問い合わせは  
**読者サポート ☎ 0120-152-337** 受付／平日10:00～18:00 ※土日祝日は休み  
✉ ichi-chu@chiikinews.co.jp

014年秋、公益社団法人長寿社会文化協会が主催する「ミユーティ・カフェ講座を見つけ早速参加。カフェオープンに向けての第二歩を踏み出した。

アフセサリー作りや  
お茶会も人気

市川市の住宅地、曾谷保育園の隣にあ  
る「コミュニティ・カ  
フェまいんど」。昨年  
の12月にプレオープン  
し、今年1月から本  
格的に始動している。  
開いたのは小倉光  
枝さん。両親の介護  
や傾聴ボランティアを  
していった経験から「寂  
しさを抱えている高齢者  
者がふらと訪れる場  
所をつくりたい」との  
思いをもっていた。フ  
ルイ・カフエ講座を見  
法人長寿社会文化協  
会が主催する「ミユ  
014年秋に公益社団

取材に訪れた日は、  
夏休みの特別企画、

してなど、ワンコインで楽しめる企画が半

「まいんどのおかげで救われたの」と話してくれた常連の人は、小倉さんの古くから知り合い。夫を亡くした時にまいんどのことを聞き、最初は客として訪れていた。そのうちに手伝うようになり、今では子どもたちの宿題を見る先生役も担当している。

「不安もあつたけど、『面白い試みだね。頑張って』と背中を押してくれる声や手伝つてくれる方が集まってくれ、いい方向に展開していると感じています」と小倉さんは笑顔で話す。

また小さな種は季節を越えてどんどん成長していくようだ。

## コミュニティ・カフェ まいんど

住所／市川市曾谷7-28-2

毎月第一～第四月曜日

午前11時～午後4時(祝日休み)

TEL 090 (4838) 8114



家づくりをご検討中の方、中面をご覧ください！

2016 秋限定  
邸宅仕様

昔の手質を追い求めた古よりの仕まいを特別価格で  
**Premium Grade Fair**

**WITHEARTH**

ルザーストライク

いつまでも色褪せることのない  
最上の風格と寛ぎの住まい。

## 地域のたまり場になることを目指して **コミュニティ・カフェ まいんど**



小倉光枝さん(中央)。支えてくれる人と一緒に



## 夏の宿題会の様子。子どもたちも笑顔

コミュニティ・カフェとは地域の人の「たまり場」や「居場所」になっているところのこと。情報交換や地域の人の交流の場として、広がりを見せている。市川市にも温かい雰囲気のコミュニティ・カフェがある。